

# スモン病患者ら新組織

使途不明金問題で解散した「県スモンの会」の元役員らが中心となって、スモン病患者を支援する団体を新たに設立することが23日、元役員らへの取材で分かった。団体は患者へのケアを担ったり、行政機関との窓口になるという。

【阿部亮介】

団体は「奈良スモン病患者を支援する会」(仮称)で、スモン病患者や介護士らで近く結成する。患者同士で

スモン病に関する情報のやり取りや、会員となる患者宅を訪問し、精神的なケアなどをするといい。

現在、2〜3人のスモン病患者が参加する予定で、約40人いる他の患者にも参加を呼び掛ける。支援する県市

民オンブズマン代表幹事の阪口保さんが会長に就任する予定。阪口さんは「行政機関と交渉するためには患者団体が必要。活動資金がないため、広くカンパ

で集めたい」と話している。カンパなどの問い合わせは、阪口さん(090・6965・3531)。

元会長が会費など約40万円をだまし取ったとして、詐欺容疑などで奈良地検に提出していた告訴状を、今月11日に取り下げていたことを明らかにした。会費の領収書など証拠資料の収集が困難で、奈良地検に提出できなかつたためという。

## 元会長の告訴は取り下げ